

令和元年度

真狩村教育委員会の活動状況に関する

点検・評価報告書

令和3年3月

真狩村教育委員会

# 目 次

I	真狩村教育委員会の事務事業の点検・評価について	・ ・ ・ ・ ・ P 1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見について	
II	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ P2～5
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会会議以外の活動	
	（1）学校訪問	
	（2）調査・研修活動	
	（3）各種行事への参加	
III	教育関係者の表彰	・ ・ ・ ・ ・ P 6
IV	令和元年度決算状況	・ ・ ・ ・ ・ P 7
V	学校教育の推進について	・ ・ ・ ・ ・ P 8
VI	社会教育の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 9
VII	社会教育施設の利用状況	・ ・ ・ ・ ・ P10
	○事務事業点検・評価調書	
	No.1 学力向上対策事業	・ ・ ・ ・ ・ P11
	No.2 スクールカウンセラー事業の推進	・ ・ ・ ・ ・ P12
	No.3 特別支援教育推進事業	・ ・ ・ ・ ・ P13
	No.4 真狩高等学校生徒募集対策事業	・ ・ ・ ・ ・ P14
	No.5 地域に根ざした高校づくり事業	・ ・ ・ ・ ・ P15
	No.6 英語学習講師派遣事業	・ ・ ・ ・ ・ P16
	No.7 家庭教育事業	・ ・ ・ ・ ・ P17
	No.8 少年教育事業	・ ・ ・ ・ ・ P18
	No.9 成人教育事業	・ ・ ・ ・ ・ P19
	No.10 高齢者教育事業	・ ・ ・ ・ ・ P20
	No.11 文化振興事業	・ ・ ・ ・ ・ P21
	No.12 生涯スポーツ	・ ・ ・ ・ ・ P23
	No.13 子どもたちの読書活動推進事業	・ ・ ・ ・ ・ P25

# I 真狩村教育委員会の事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当り、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、真狩村教育委員会では、効果的な教育行政を推進するとともに、村民の皆様に説明責任を果たし、信頼される教育行政の構築を目指してまいります。

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む）を含むその管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成31年度（令和元年度）教育行政執行方針及び重点推進項目に係る施策・事業結果を対象としております。

## 3. 点検・評価の方法

対象とした事業について「必要性」「事業の効果」「費用対効果」の観点から総合的に評価した上で、今後の方向性では「現状のまま継続」「改善のうえ継続」「事業を拡大」「事業を縮小」「休止を検討」「廃止を検討」に区別して明らかにしております。

また、評価については、自己評価にあわせ、外部評価を行い、事業に対するチェック体制を整備し、公平かつ広域性をもった評価報告としております。

## 4. 学識経験者の知見について

真狩村教育点検評価委員

氏名	役職
福田 恵子	真狩村社会教育委員長
本間 豊盛	真狩村文化財保護審議会会長
松枝 主範	真狩村PTA連合会会長

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催

開催日	区分	議件	件名	
平成31年 4月25日	定例	議案	真狩村社会教育委員並びに真狩村公民館運営審議会委員の選任について	
			真狩村スポーツ推進委員の選任について	
			平成31年度準要保護児童生徒の認定について	
		出席委員	4名	
令和元年 5月30日	定例	報告	教育行政報告 真狩高校の運営について	
		議案	令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について	
		協議報告	春季学校訪問の日程調整について 第56回北海道市町村教育委員研修会について	
		出席委員	4名	
令和元年 7月 4日	定例	報告	最近の村内学校における学校運営について	
		議案	平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について	
			真狩村立学校管理規則の一部改正について	
		出席委員	4名	
令和元年 7月10日	総合教育 会 議	議案	真狩村教育大綱について	
		出席委員	4名	
令和元年 8月28日	定例	報告	教育行政報告 真狩高校の運営について 令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について	
			議案	令和2年度から使用する小学校用教科用図書及び令和2年度に使用する中学校用教科用図書並びに令和2年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の決定について
				真狩村立学校における働き方改革【行動計画】の一部改正について
		令和元年度準要保護児童生徒の認定について 令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について		
		協議報告	令和元年度後志管内町村教育委員研修会について	
		出席委員	4名	

開催日	区分	議件	件名
令和元年10月 1日	定例	報告	教育行政報告
		議案	教育委員の議席決定について
		協議報告	全国学力・学習状況調査の結果について
			令和元年度後志管内町村教育委員研修会について
		出席委員	4名
令和元年11月11日	臨時	報告	真狩小学校の状況について
		出席委員	4名
令和元年11月28日	定例	報告	教育行政報告
			真狩高校の運営について
			令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について
		議案	真狩村学校給食センター設置及び管理に係る条例の一部改正について
			真狩村学校給食センター設置及び管理に係る条例施行規則の一部改正について
			令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
			真狩村社会教育委員並びに真狩村公民館運営審議会委員の選任について
		協議報告	学校給食費について
村民大運動会の今後のあり方について			
出席委員	4名		
令和2年1月27日	定例	報告	いじめ重大事態に関する再発防止検討報告書について
			令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について
			令和元年度一般会計補正予算（教育関係）について
		議案	令和元年度準要保護児童生徒の認定について
		協議報告	真狩高校の状況について
		出席委員	4名

令和2年2月21日	定 例	報 告	教育行政報告 真狩高校の運営について
		議 案	真狩村スポーツ表彰条例の制定について
			北海道真狩高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部改正について
			真狩村立高等学校寄宿舎設置及び管理に関する条例施行規則の制定について
			平成31年度小学校入学期日等の通知及び学校の指定について
			北海道真狩高等学校授業料等未納対策事務取扱細則の制定について
			北海道真狩高等学校授業料等未納者に対する聴聞実施細則の制定について
			平成30年度真狩村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告の決定について
			第4期度真狩村子どもたちの読書活動推進計画の決定について
			令和元年度真狩村スポーツ表彰者の決定について
			令和2年度小学校入学期日等の通知及び学校の指定について
			令和2年度中学校入学期日等の通知及び学校の指定について
			真狩村スポーツ表彰規則の廃止について
			令和元年度一般会計予算（教育関係）の補正予算について
		協議報告	令和元年度各学校卒業式及び令和2年度各学校入学式の日程について
出席委員	4名		
令和2年2月28日	臨 時	報 告	新型コロナウイルス感染症対策関係について
		出席委員	4名
令和2年3月3日	臨 時	報 告	新型コロナウイルス感染症対策関係について
		出席委員	4名
令和2年3月6日	定 例	報 告	令和2年度教育行政執行方針
			新型コロナウイルス感染症対策関係について
		議 案	真狩村立学校管理規則の一部改正について
			学校給食費の改定について
		令和2年度一般会計当初予算（教育費関係）について	
協議報告	令和2年度当初教育職員の人事異動について		
出席委員	4名		
令和2年3月10日	臨 時	報 告	分散登校について
		出席委員	4名

令和2年3月19日	臨時	報告	春季休業中の新型コロナウイルス感染症対策について
			生徒の「学びの積み残し」のための対応について
		協議報告	真狩村社会教育施設の休館期間について
		出席委員	令和2年度当初教育職員の人事異動について
		出席委員	3名
令和2年3月30日	定例	議案	真狩村立学校における働き方改革【行動計画】の一部改正について
			村内学校の新年度行事等について
		協議報告	真狩村社会教育施設の休館期間について
			真狩村スポーツ少年団の活動再開について
		出席委員	4名

## 2. 教育委員会議以外の活動

### (1) 学校訪問

実施日	訪問校
令和元年 7月10日	真狩小学校、御保内小学校、真狩中学校、真狩高等学校
令和元年11月28日	真狩小学校、御保内小学校、真狩中学校、真狩高等学校

### (2) 調査・研修活動

実施日	内容
令和元年 7月11日	全道教育委員大会（札幌市教育文化会館）
令和元年10月31日	後志管内教育委員研修会（ニセコ町民センター）

### (3) 各種行事への参加

実施日	内容
令和元年 4月 3日	教職員辞令交付
令和元年 4月 5日	御保内小学校、真狩小学校入学式、真狩中学校入学式
令和元年 4月 9日	真狩高等学校入学式
令和元年 6月 1日	中学校校内体育大会
令和元年 6月 8日	真狩小学校運動会
令和元年 6月15日	御保内小学校運動会
令和元年 6月30日	村民大運動会
令和 2年 1月12日	成人式
令和 2年 2月27日	スポーツ表彰式（中止）
令和 2年 3月 1日	真狩高等学校卒業式（来賓なし）
令和 2年 3月15日	真狩中学校卒業式（来賓なし）
令和 2年 3月19日	真狩小学校卒業式（来賓なし）
令和 2年 3月24日	御保内小学校卒業式（来賓なし）

### Ⅲ 教育関係者の表彰

#### 【スポーツ部門】

表彰区分	氏名・団体名	主な実績
スポーツ賞	真狩バレーボール少年団	○道新杯バレーボール大会道央大会 第3位
	真狩高等学校女子バドミントン部	○第46回北海道高等学校定時制通信制バドミントン大会 優勝
		○第46回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会出場
	真中スキーリレーチーム (佐々木颯一郎、佐々木ひな太、神幸太郎)	○北海道中学校スキー大会クロスカントリーリレー競技第2位 (佐々木颯・佐々木ひ・神)
	小林 駿太	○2018-2019シーズン北海道アルペンスキー-K1カテゴリー ユースト S L 3位、全体 9 位
		○2019 J O C ジュニアオリンピック全国ジュニアスキー競技会 S L 16位
神 幸 太 朗	○北海道中学校スキー大会 クロスカントリーフリー第4位、クラシカル第6位、全国大会に出場	
	○後志中学校陸上競技大会 男子3千M 第1位、全道大会に出場	
スポーツ奨励賞	真狩高等学校男子バレーボール部	○第46回北海道高等学校定時制通信制バレーボール大会 優勝
		○第46回全国高等学校定時制通信制バレーボール大会出場
	真狩高等学校女子バレーボール部	○第46回北海道高等学校定時制通信制バレーボール大会 優勝
		○第46回全国高等学校定時制通信制バレーボール大会出場
	真狩中学校バレーボール部	○北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会 男子・女子出場
		○北海道中学生バレーボール選抜優勝大会男子出場 (余市東と合同)
		○後志中学秋季バレーボール選手権大会女子優勝 (倶知安中と合同)
	真狩中学校野球部	○後志ベースボールクラシック準優勝 (京極中と合同)
		○全日本少年春季軟式野球北海道大会後志予選会兼北海道中学校軟式野球選抜選手権大会後志予選会優勝 (京極・喜茂別・留寿都中と合同)
	小林 賢 司	○北海道中学校スキー大会 G S L ・ S L 出場
三野 愛 歩	○北海道中学校スキー大会 G S L 出場	
	○後志中学校水泳大会女子背泳ぎ100M 第2位	

○令和元年度真狩村スポーツ表彰審議会 (令和2年2月10日開催)

○令和元年度真狩村スポーツ表彰式 (新型コロナウイルス感染症対応で中止)

・ 7 団体、 4 個人を表彰 (上記による)

#### IV 令和元年度決算状況

(単位：円)

項及び目	令和元年度決算額	平成30年度決算額	増 減
<b>1. 教育総務費</b>	46,844,164	37,702,785	9,141,379
(1) 教育委員会費	1,302,287	1,291,492	10,795
(2) 教育委員会事務局費	30,116,529	22,082,894	8,033,635
(3) スクールバス運行費	10,589,663	10,533,463	56,200
(4) 教員住宅費	4,835,685	3,794,936	1,040,749
<b>2. 小学校費</b>	119,295,386	38,792,854	80,502,532
(1) 学校管理費	27,114,602	27,788,847	△ 674,245
(2) 維持修繕費	92,180,784	11,004,007	81,176,777
<b>3. 中学校費</b>	16,726,273	15,939,803	786,470
(1) 学校管理費	14,973,800	15,322,672	△ 348,872
(2) 維持修繕費	1,752,473	617,131	1,135,342
<b>4. 高等学校費</b>	98,970,999	113,155,370	△ 14,184,371
(1) 学校管理費	36,125,196	35,807,570	317,626
(2) 維持修繕費	13,344,192	3,966,417	9,377,775
(3) 実験実習費	15,899,722	15,399,405	500,317
(4) 寄宿舎費	33,601,889	57,981,978	△ 24,380,089
<b>5. 社会教育費</b>	12,983,249	14,697,552	△ 1,714,303
(1) 社会教育総務費	1,576,958	1,649,760	△ 72,802
(2) 社会教育振興費	197,688	199,213	△ 1,525
(3) 公民館総務費	10,753,957	12,237,560	△ 1,483,603
(4) 公民館事業費	252,242	354,452	△ 102,210
(5) 羊蹄ふるさと館運営費	132,207	187,931	△ 55,724
(6) 学校支援地域本部事業費	70,197	68,636	1,561
<b>6. 保健体育費</b>	40,817,369	43,858,847	△ 3,041,478
(1) 給食センター運営費	36,965,888	38,149,664	△ 1,183,776
(2) 体育振興費	2,668,397	4,517,618	△ 1,849,221
(3) 学校衛生費	1,183,084	1,191,565	△ 8,481
計(1+2+3+4+5+6)	335,637,440	264,147,211	71,490,229

#### ◎増減の要因

- ・教育総務費（学校PC・ネットワーク更新、通学支援事業）の増
- ・小学校費（真小支援員1名（9月～+1）増、暖房費減、真小暖房更新工事）の増
- ・中学校費（真中チャイム修繕、真中防犯カメラ更新）の増
- ・高等学校費（校舎煙突工事、屋外タンク設置工事、寄宿舎ボイラー・煙突改修完了）の減
- ・社会教育費（公民館地下タンク改修完了）の減
- ・保健体育費（賄材料費の減、プール休止分の減）の減

## V 学校教育の推進について

### 1. 小中学校教育

子ども達の「生きる力」「自ら学ぶ意欲」「自ら考え、判断を表現する力」を育むことを目標に教育を進めてまいりました。

学力向上に向けては、基礎・基本学力の定着、家庭における学習習慣の定着を図り、教育環境の整備に努めてまいりました。

### 2. 真狩村特別支援教育支援員の配置

普通学級に在籍していても生活や学習上において困難や改善が必要とされる児童・生徒に対して適切な指導や必要な支援を行うもので、小学校3名（9月以降4名）中学校2名を配置しております。

個々の違いを認識しつつ、児童・生徒の教育ニーズを把握し、その持てる力を高め、いきいきと活躍できる共生社会の形成を図ってまいります。

### 3. 就学援助

小中学校に通学するうえで、経済的な理由のため、就学困難と認められる生活保護法に規定する「要保護者」及び「準要保護者」に対して、援助しております。

援助の種類としては、学用品費、通学用品費、校外活動費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校給食費を支援しております。

### 4. 高等学校教育

農業における生産・流通・経営の多様化、安全な食料の供給など環境保全の必要性により、新たな時代の持続可能な農業を支える人材育成が強く求められる中、平成25年度に「有機農業コース」「野菜製菓コース」を開設し、農業の生産、食のスペシャリストを育成しております。

また、地域や関係機関と密接に連携した特色ある教育を展開し、農業を中核とした産業人の育成を図り、「地域に愛される高校づくり」を目指しております。

生徒募集については、少子化の進展により、管内はもとより、管外への中学校訪問、学校説明会、進路相談会、一日体験入学などひとりでも多くの生徒が入学していただくための対策にあわせ、保護者への負担軽減を図るため、交通費や各資格の受験料、国内農業研修などの助成を行い、志願者の確保に努め、管外入学者のために寮を開設し、体制を整備しております。

### 5. 学校給食及び食育の推進

児童生徒が安心して栄養バランスのとれた給食に努め、地場産品を使用した「食育」の推進を図っております。

また、アレルギーを持つ児童生徒に対しての指導、メニューの選択など食生活における管理・教育にも取り組んでおります。

老朽化した給食センターの施設、備品等の計画的な改修改善により、管理運用の充実を図っております。

### 6. 学校評価と教職員の評価

学校に運営に対する保護者の関心が高まっている中、これまでの活動、成果を自ら検証するため教職員による「自己評価」にあわせ、「学校関係者評価」を実施しております。

保護者からの信頼を高めるとともに、より一層の学校改善を推進してまいります。

### 7. 学校施設・設備の整備

児童生徒及び教職員が安心して学校生活を送れるよう計画的に施設の整備を図っております。

・学校校舎修繕 ・教員住宅改修、解体工事 ・教材購入など

## VI 社会教育の推進

### 1. 生涯学習の推進

「生涯学習の村」宣言以来、人づくりを目標に、第9期真狩村社会教育中期計画と連動する中、生涯学習社会の構築に向け、地域における生涯学習活動の実践・普及・定着に努めております。

また、地区担当制を導入する中、地区との連携、情報の共有化など社会教育の推進を図っております。

### 2. 社会構造の変化と住民の要請に対応する社会教育の推進

少子高齢化の進展により、「地域の活力」が問われております。住民の活動の場づくり、地区後継者の育成など学習条件の整備を図りつつ、多種多様な学習ニーズに対応し、各種講座・学級、公民館事業などの充実を図っております。

また、「まっかりスクールサポートセンター」を通じ、学校と地域の連携による学習機会、世代間交流を図るなど子ども達の健全育成に努めております。

さらには、真狩村子どもたちの読書活動推進委員会が中心となり、学校・地域・関係機関が一体となった取組みを行う中、読書活動を通じ、社会教育の推進を図っております。

### 3. 心豊かなライフスタイルを築く「生涯スポーツ社会」の推進

村民の健康増進、体力向上、交流や親睦を図るため、スポーツ活動を推進しております。そのためには、村民一人ひとりがスポーツに関心と理解を深め、日常生活においてスポーツを行う習慣を養うとともに、環境の整備が必要とされております。

誰もが、気軽にスポーツに親しめるよう、各種スポーツ大会、スポーツ教室を開催し、生涯スポーツ社会に向けた取組みを推進しております。

村民大運動会は最後の第50回大会でしたが、残念ながら雨天中となりました。次年度以降その在り方を検討します。また、村営プールも老朽化により休止しています、今後運営方針について協議を進めたい。

### 4. 芸術・文化の振興

芸術・文化に触れ、親しみ、関わることは、心の豊かさをもたらし、豊かな感性と創造性を育み、地域の活性化を推進します。

多種多様なライフスタイルがある中で、ゆとりと潤いのある暮らしの充実に向け、様々な情報を発信し、村民の芸術文化の振興に努めております。

地域の自主的活動、文化団体協議会等への支援をはじめ、羊蹄ふるさと館の季節開館、文化財講座の開催など充実に向けた取組みを進めております。

また、本村の伝統芸能である「浦安の舞」においては、真狩高校「郷土部」により、引き継がれております。

## VII 社会教育施設の利用状況（令和元年度）

### 1. 公民館利用状況

室名	利用回数	利用人数
大ホール	103回	4,398人
会議室	108回	995人
和室	72回	616人
視聴覚室	42回	1,511人
調理室	17回	327人
婦人研修会	91回	543人
青年研修室	32回	256人
陶芸室	32回	88人
計	497回	8,734人

#### 【参考】

年度	利用回数	利用人数
H28年度	746回	12,843人
H29年度	700回	11,749人
H30年度	703回	11,020人

### 2. 公民館図書室利用

区分	冊数等	備考
蔵書冊数	11,616冊	
購入冊数	549冊	
貸出冊数	5,966冊	
DVD閲覧者数	3人	
開館日数	292日	
インターネット利用	0人	

#### 【参考】貸出冊数

H30年度	H29年度	H28年度
5,958冊	3,721冊	3,655冊

### 3. 学校施設利用状況

施設名	使用人数	使用期間	使用回数	【参考】			
				項目	H30年度	H29年度	H28年度
真狩小学校体育館	16人	通年	1回	使用人数	87人	99人	94人
				使用回数	3回	5回	6回
御保内小学校体育館	115人	通年	14回	使用人数	162人	92人	98人
				使用回数	24回	17回	17回
真狩中学校体育館	327人	通年	23回	使用人数	372人	381人	170人
				使用回数	22回	31回	17回
真狩高等学校体育館	1,308人	通年	113回	使用人数	1,605人	1,735人	1,515人
				使用回数	132回	156回	137回

### 4. 総合グラウンド利用状況

施設名	使用人数	使用期間	使用回数	【参考】			
				項目	H30年度	H29年度	H28年度
総合グラウンド	486人	5月上旬 9月中旬	25回	使用人数	799人	754人	609人
				使用回数	34回	52回	68回

### 5. 村営プール利用状況

施設名	使用人数	使用期間	使用回数	【参考】			
				項目	H30年度	H29年度	H28年度
村営プール	休止			使用人数	466人	615人	644人
				使用回数	42回	43回	41回

# 事務事業点検・評価調書

No.1

## 1. 事業名等

事業名	学力向上対策事業
事業目的	後志学力向上推進プロジェクトと連動した取り組み

所管	教育委員会 学校教育係
予算科目	10教育費 2小学校費 3中学校費
項目	
節	

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	①基礎・基本の定着 ・全国学力・学習状況調査の実施 ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 ・長期休業中の勉強会 ・振り返り授業の実施など ②家庭での学習習慣の確立 ・家庭学習(宿題)・保護者への周知(テレビ・ゲーム等への指導)など		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
平成31年4月～令和2年3月	各小・中学校	0千円	

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査において小・中学校ともに大部分が全国平均を上回っている。</li> <li>・初めて実施された中学校の「英語」では、「聞くこと」「読むこと」の領域で全国平均を上回っている。</li> <li>・家庭での学習習慣の定着、テレビ・ゲーム等の長時間使用などの課題もある。</li> <li>・各教科の弱点を克服できるよう課題・問題に取り組む。</li> </ul>
--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	(備考) (委員意見) ・1人1台パソコン時代を見据え、児童生徒と保護者同時に行うインターネット研修を行って欲しい。			

# 事務事業点検・評価調書

No.2

## 1. 事業名等

事業名	スクールカウンセラー推進事業
事業目的	スクールカウンセラーに来校してもらい不登校生徒・保護者・教職員に対する教育相談及び面談を行い、不登校問題に対応する。

所管	教育委員会
	学校教育係

予算科目	款	10.教育費
	項	1.教育総務費
	目	2.教育委員会事務局費
	節	8.報償費

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	・スクールカウンセラーに来校してもらい、生徒・保護者・教職員に対して、不登校・友人関係・こころの問題など諸問題に対する教育相談体制の充実を図る	
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算
平成31年4月～令和2年3月		119千円

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>・現在、小中学校の児童生徒についても、こころの問題など教育相談が求められている。スクールカウンセラーが月1回程度真狩中学校に来校し、子どもたちの授業の様子を見学したり、悩みを持つ生徒や保護者との面談や教員への助言を行っている。小学校や高校から要望がある場合は調整のうえ対応する。令和元年度は道教委スクールカウンセラー事業を活用し、費用負担が軽減された。</p> <p>・近年、体の変調、こころの問題、生活習慣等の不調による児童生徒の訴えがある。成長期、思春期など成長バランスによる身体的な問題やこころの問題か不明な点もあることから、保健室の充実、スクールカウンセラーの定期的な要請など、今後ますます増加が予測される。保護者や教員への助言など課題解決への対応も重要となっている。</p> <p>・スクールカウンセラーの要望が多くなっているが、人材不足のため十分に答えられていない。</p>
--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	(備考)			<input type="checkbox"/> 事業を縮小
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	(備考)(委員意見)			<input type="checkbox"/> 事業を縮小
	<p>・人材不足で十分に答えられない状況を、ZOOM利用など面談方法を検討して状況改善を図れないか。</p>			

# 事務事業点検・評価調書

No.3

## 1. 事業名等

事業名	特別支援教育推進事業
事業目的	・学習障害等を有し、普通学級に在籍している児童・生徒への学習支援のサポートに取り組む。

所管	教育委員会 学校教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費
項目	2.小学校費 3.中学校費
目	1.学校管理費
節	7.賃金

\*千円、未満四捨五入

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	<p>・対象児童生徒の学習や集団行動等についての支援を行うことにより、学級全体が安定し、安心して楽しい学校生活を送れるよう、特別教育支援員を配置する。</p> <p>*配置:小学校4名 中学校2名</p>		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
平成31年4月～令和2年3月		10,493千円	

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>・支援員のサポートにより、対象児童、生徒が精神的に安定した中で、安心して学校生活を送ることができる。普通学級における特別な支援を要する児童生徒は、今後も見込まれることから、支援員の配置が必要と思われる。また、特別支援学級に在籍する児童も増えており、担任教員だけではきめ細かな対応ができず支援員のサポートが必要な場合も出てきている。</p> <p>・幼少期からの対応は重要であり、その児童生徒にとって、授業がわからない時点で学校生活は楽しく過ごすことはできず、そのことが学級全体に大きな影響をもたらす。成長過程において、小中学校での対応は、その児童生徒の将来、人生においても左右する重要な問題として認識することが必要と思われる。</p>
--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
(備考)増員に伴う財政負担、支援員の人材不足が懸念される。				
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
(備考)				

# 事務事業点検・評価調書

No.4

## 1. 事業名等

事業名	真狩高等学校生徒募集対策事業
事業目的	・真狩高等学校を志願する生徒の増加を図る

所管	教育委員会
	真狩高校

予算科目	款	10.教育費
	項	4.高等学校費
	目	1.学校管理費
	節	19.負担金、補助交付金

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	・中学校訪問、学校説明会、進学相談会や一日体験入学を実施。 (学校訪問⇒管内6校、石狩130校 実施)		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
平成31年4月～令和2年3月	教員延べ17人	398千円	

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

・生徒募集に向けて、学校訪問、説明会、一日体験入学、各種フェア参加により学校PRなど事業展開。(一日体験入学:45人 入学者数:27人)  ・コースを編成後、H27・28・29年は減少、H30・31は増加となり、2年度入学者は27名と減少となった。要因としては、村内生の入学者の減少による。  ・寮生活での指導、育成については、札幌方面の中学校より一定の評価を受けており、今後においてもある程度の生徒数は見込める。近隣高校と競合していない製菓コースの生徒募集に重点を置くことが必要と思われる。
--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考) 高校存続に向けた対応を早急に進める。				
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考)				

# 事務事業点検・評価調書

No.5

## 1. 事業名等

事業名	地域に根ざした高校づくり事業
事業目的	・地域や関係機関と密接に連携した特色ある教育を展開し、農業を中核とした産業人の育成を図る。また、作物栽培だけではなく、食品加工、調理などの技術を備え、販売にいたる6次産業化を踏まえ、系統的な学習活動を通じ、主体的・協動的に学び、自ら考え、判断して行動ができる人材の育成。

所管	教育委員会 真狩高校
----	---------------

予算科目	⑩教育費 ④高等学校費 ①学校管理②維持修繕費 ③実験実習費
------	---

\*千円、未満四捨五入

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	①販売会、即売会の開催 ・農産物、菓子(高校生カフェ「ラ・ミッカ」等)、多肉植物の販売 ②大豆100粒運動 ・栽培から生産、豆腐づくりを展開。豆腐マイスターの資格取得(1年生34名) ③イベントへの参加 ・各種イベントへの参加(産業まつり、読書まつり等ボランティア含む) ④文化伝統芸能の継承 ・郷土芸能「浦安の舞」の継承		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
平成31年4月～令和2年3月	真狩高校生(教職員含む)	65,369千円	

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

・地域の行事や地域活動に積極的参加し、地域に根ざし、地域に貢献できる私立高校としての期待と信頼に努めてきた。これからも地域に愛される高校を目指していく。 今後も引き続き、即売会、学校開放講座の開設など住民との交流を通じ、さらなる連携を図る。 ・製菓衛生師8名全員合格 ・わが村は美しく北海道運動第9回コンクール⇒大賞 ・パン甲子園2019inいわみざわ⇒準グランプリ ・道産食材使用パフェアイデアコンテスト⇒大賞 ・ハイスクールパティシエロワイヤル2019⇒グランプリ(セイコーマートで商品化) ・バレーボール(男女)バドミントン(女子団体)全国大会出場
--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	(備考)			
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	(備考)(委員意見) ・マーシーズ・ファームとのコラボや販売会実施できない分を補う方法を検討して欲しい。			

# 事務事業点検・評価調書

No.6

## 1. 事業名等

事業名	英語学習講師派遣事業
事業目的	外国人講師を派遣し、村内の各学校における英語指導の充実を図る

所管	教育委員会
	学校教育係

予算科目	款	10.教育費
	項	1.教育総務費
	目	2.教育委員会事務局費
	節	13.委託費

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の各学校へ外国人講師を派遣し、担当教諭との連携による授業の実施や英語における年間指導計画の作成にあたっての助言・補助を行い、英語指導の充実・強化を図る。</li> <li>・保育所でも外国語に触れる活動に取り組む。</li> <li>・公民館で子ども向け、大人向けの英会話教室を開催し、国際感覚やコミュニケーション能力を有したグローバルな人材育成を図る。</li> </ul>	
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算
平成31年4月～令和2年3月	各学校児童生徒及び教諭、一般	11,195千円

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>「外国人」講師の授業により、児童生徒が外国人の話す英語に接することができ、外国の文化風習などの理解を深めることができた。また、小中高校において、より質の高い英語指導が行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真狩小学校 3・4年生)週1時間 5・6年生)週2時間</li> <li>・御保内小学校 3・4年生)週1時間、5・6年生)週2時間</li> <li>・真狩中学校 1・2・3年生)週2時間程度、英検・スピーチコンテスト指導等</li> <li>・真狩高等学校 1・2・3年生)週2時間程度、英検指導等</li> <li>・まっかり保育所 週1時間</li> <li>・英会話教室 小学生低学年・高学年隔週)週1時間、大人初級・中級隔週)週1時間</li> </ul> <p>・グローバル化する社会の中で、外国語の必要性は増大することが想定され、令和2年度から実施される新学習指導要領を先行実施し、小学3・4年生35時間、5・6年生70時間の時数に対応するため、外国語指導助手2名を配置し授業に取り組んでいる。また、小学生・大人対象の英会話教室を開催し、継続的に学習することができた。</p>	
--	--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考) 講師の複数配置による財政的負担				
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考)				

# 事務事業点検・評価調書

No.7

## 1. 事業名等

事業名	家庭教育事業
事業目的	① 継続性を重視した、親子や異世代で活動できる機会の提供に努める。 ② 子どもと保護者が一緒に成長できる学習機会の提供を図る。 ③ 関係機関と連携し、保護者だけでなく、これから親になる若い世代や地域全体で子どもを育てる意識の高揚を図る。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	款 10.教育費 項 5.社会教育費 目 4.公民館事業 節 8.報償費
------	---

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) ブックスタート事業(乳幼児健診時に絵本を2冊プレゼント及び読み聞かせ) (2) 家庭教育支援講座(就学時健康診断の際に家庭教育に関する講座開設)		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
(1) ブックスタート:年4回 読み聞かせ:年8回	(1) ブック:対象18組中10組参加 読み聞かせ:延べ74組	45千円	合計 45千円
(2) 10月8日	(2) 19人		

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>(1) ブックスタート及び読み聞かせについては、住民課保健係及び読書ボランティア(すくすくぶっく)との連携により所期の目的を達成することができた。平成31(令和元)年度については、対象の18組中10組が参加した。乳児健診に来ないなどの理由で実施できなかった対象者については、保健師から本を直接渡してもらう形で対応した。令和2年度より、3歳児に対するフォローアップ事業である「ブックスタートプラス事業」を実施する予定。</p> <p>(2) 就学時健康診断の際に実施。講師については後志教育局教育支援課主査に依頼した。道教委主催「家庭教育ナビゲーター養成講座」を兼ねて開催。今回は、親子で身につける生活習慣として、子どもとメディアの関わり方について説明していただいた。規則正しい生活習慣を身につけるには家庭教育が重要なことから、今後においても家庭教育支援講座を実施していく。</p>	
---	--

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡大
(備考) 事業拡大:ブックスタートプラス事業				
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡大
(備考)				

# 事務事業点検・評価調書

No.8

## 1. 事業名等

事業名	少年教育事業
事業目的	① 豊かな心を育むことができる、体験活動の充実に努める。 ② 将来を担う子どもたちを育てるリーダー育成に努める。 ③ 少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や健全育成の事業実施に努める。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	款	10.教育費
	項	5.社会教育費
	目	2.社会教育振興費ほか
	節	11.需要費 12.役員費ほか

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) まっかりスクールサポートセンター事業 (2) ジュニアリーダー研修(ネイパル森主催事業に参加) (3) 体験学習(まっかりスポーツコミュニティクラブとの連携) (4) 子ども英会話教室		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
(1) 実行委員会(7/16、2/20)	7人(7/16)、6人(2/20)	70千円	合計 74千円
(2) 7/29～31	参加者なし		
(3) 11/7・14、2/6、2/11	延べ42人(11/7・14)、27人(2/6)、22人(2/11)	4千円	
(4) 全32回中29回開催	16人(1～3年)、8人(4～6年)		

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

(1) スクールガードの実施、読書ボランティアによる読書活動、小学校の総合的な学習に伴う地域住民の協力など、住民ボランティアによる学校支援を継続的に行うことができている。また、令和4年度からコミュニティ・スクールの導入に向けて、これまでの取り組みを引き続き推進しながら、検討していく。
(2) 道立青少年体験活動支援施設ネイパルが主催。近年高校からの参加がなく中学生1人の参加が多かったことから、より参加しやすいよう中学生2人の枠で中学校に働きかけたが、参加希望者がいなかった。今後も中学生2人の枠でより積極的に参加を促す。
(3) 真狩スポーツコミュニティクラブとの共催で実施。11/7・14はタグラグビー体験、2/6はバスケット、2/11は雪中運動会を行った。今後も協力して実施していく。
(4) 2人のALTで指導できるようになったことから講師の負担も軽減され、子どもたちも英会話をより楽しく学習することができた。次年度も同様のかたちで引き続き実施していく。

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考) 事業拡大: 令和4年度からコミュニティ・スクール導入予定				
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
(備考) (委員意見) ・CSは、地域に根差した人をコーディネーターにして欲しい。				

# 事務事業点検・評価調書

No.9

## 1. 事業名等

事業名	成人教育事業
事業目的	① 地域人材の発掘をすすめ、それらを活用した学習機会の提供に努める。 ② 関係機関・団体と連携しながら、住民からのニーズに応じた生活に役立つ学習機会の拡充に努める。 ③ これからの地域を担う人材の育成に向け、大人としての自覚を促す事業の実施に努める。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費
項目	5.社会教育費
目節	2.社会教育振興費ほか 8.報償費 19.負担金補助ほか

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) 真狩高校学校開放講座 (2) 成人式 (3) 生涯学習会長・事務局長会議及び各地区生涯学習会への支援 (4) 公民館講座 (5) 大人の英会話教室		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
(1) 中止(新型コロナ対策により)		1千円	合計 570千円
(2) 1/12	13人(男7人、女6人)	85千円	
(3) 5/28	各地区会長及び事務局長 13人	480千円	
(4) 中止(新型コロナ対策により)		2千円	
(5) 全36回中32回実施	31人(初級18人、中級13人)	2千円	

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

(1) 地元高校との連携協力事業に対し、興味を持ち参加されている。例年3月に開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策により、やむなく中止とした。今後も引き続き実施していきたい。
(2) 学友、級友やお世話になった方々との再会、村全体での祝福に感謝の様子が伺えた。令和4年度から法改正により成人年齢が18歳以上となることから、成人式の対象者をどうするかを検討する必要がある。
(3) 各地区生涯学習の活動内容は概ね例年同様である。時代に即した生涯教育のあり方について、今後考えていく必要がある。
(4) 今年度は年1回の講座とし、ラジオパーソナリティの金子耕式氏を講師に迎え、いじめや不登校問題に焦点をあてPTAや学校関係者を対象として開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策により、やむなく中止とした。今後また金子氏を講師に迎え、同じテーマで講座を開催できればと考える。
(5) 前年度に引き続き、初級と中級に分けて募集し、共に幅広い年齢層から参加申し込みがあった。英語への関心の高さが伺えた。期間が経つにつれ、段々参加しなくなる人が増えてくるのが課題である。

## 4. 事業の評価

自己評価	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	
(備考) 地区生涯学習へ補助するも地区によっては繰越額が増えている。				
外部評価	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	
(備考) (委員意見) 公民館講座はPTAなどの団体と連携して効率的に行うことも必要だ。				

# 事務事業点検・評価調書

No.10

## 1. 事業名等

事業名	高齢者教育事業
事業目的	① 自分たちでできることは自分たちで行い、「支えられる側」から「支える側」にまわるという意識の向上に努める。 ② 社会とのつながりが希薄な高齢者が外に出るきっかけとして、交流しあえる場所や環境づくりに努める。 ③ 関係機関と連携し、文化活動や交流活動など、生きがいを高める多様な学習機会の提供に努める。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費
目	5.社会教育費
節	2.社会教育振興費
	12.役務費 14.使用料

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) 桂長寿大学の開校(全5回) 第1回 開校式(年間スケジュール、脳トレ、教育長による講話「最近の教育行政について」) 第2回 視察研修(余市町・ニッカウキスキー余市蒸留所、余市ワイナリー見学) 第3回 健康講座(講師:児童養護施設北海愛星学園 管理栄養士 高橋千恵氏) 第4回 交通安全講座(講師:北海道札幌方面俱知安警察署交通課交通係長 泉谷 俊典氏) 第5回 閉校式(1年のまとめ) ⇒ 新型コロナウイルス感染防止対策により中止	
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算
打合せ会議 5/10	真鶴会役員3人、教委1人	79千円
第1回 6/11	80人(真鶴会77人、一般3人)	
第2回 9/11	24人(真鶴会22人、一般2人)	
第3回 11/19	78人(真鶴会75人、一般3人)	
第4回 1/14	75人(真鶴会73人、一般2人)	
第5回 中止		

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>開校式と閉校式を含め、合計5回の桂長寿大学の実施を予定していたが、最後の閉校式は新型コロナウイルス感染防止対策により中止とした。今年度の講座に関しては、例年にはない取り組みとして、開校式の際に教育長から最近の教育行政ということで講話をした。また、第3回の講座では道農政部主催の事業と連携し、高齢者向けの食育講座を行ったり、第4回では俱知安警察署交通課職員を招き、高齢者の交通安全や免許返納の状況についてお話ししていただいたりと、最近取り扱っていなかったテーマについて学習することができた。</p> <p>今後とも高齢者の生きがいづくりのきっかけとなるような学習の推進を図っていくが、近年、老人クラブ真鶴会の事業の一環としての桂長寿大学となっているような状況でもあり、一般の人が受講しづらくなっているのではないかという懸念の声もある。</p>
---

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	(備考)			
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休止を検討 <input type="checkbox"/> 廃止を検討
	(備考)(委員意見) 桂長寿大学と真鶴会例会を分離すべきだ。			

# 事務事業点検・評価調書

No.11

## 1. 事業名等

事業名	文化振興事業
事業目的	① 芸術文化団体の育成と指導者・後継者の養成に努める。 ② 村の文化財の関心を高め、文化財保護思想の普及啓発を図る。 ③ 村民の芸術文化活動を広めるために、発表と鑑賞の機会の拡充に努める。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費 5.社会教育費 1.社会教育総務費ほか 8.報償費、12.役務費ほか
------	--

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) 書道講習会(新春書初め会) (2) 羊蹄ふるさと館夏季開館 (3) 文化財講座 (4) 文化交流事業(総合文化祭、芸能発表大会)及び文化団体の支援・育成		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
(1) 1/9	13人 講師:真狩温知会羊蹄支部 7人	20千円	合計 394千円
(2) 8/4~14	287人来館	41千円	
(3) 8/2(講話)、8/3(野外観察)	17人(講話)、18人(野外観察)	33千円	
(4) 10/26、27(総合文化祭) 2/16(芸能発表大会)	100~200人程度 (総合文化祭、芸能発表大会)	300千円	

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>(1) 今年度は開始時間を9時30分から10時00分に変更して実施した。学童の子どもたち以外で参加した小学生は1名だけで、学童が参加しなければほとんど参加者がいない状態となることから、関係団体など村民に広く声掛けをしていくことが重要。参加していた子どもたちは集中して何枚も書き、そのたびに上達しているのがわかった。</p> <p>(2) 今年度についても一週間の夏季開館を行なった。昨年度に引き続き常設展示のほかに収蔵庫の開放、子ども向けの羊蹄ふるさと館クイズなどを催した。主にキャンプに訪れている人の来館が多く、アンケートの結果では、わかりやすかった、見やすかったなどの意見が寄せられた。8/11には高校音楽講師の深澤先生による八洲秀章演奏会も行なったが、参加者がそれほど多くなかったため、より周知を図るとともに今後の方向性について検討も必要。</p> <p>(3) 今年度の文化財講座は、いつもの座学形式だけの講座をやめ、真狩村の地質について野外観察することをテーマとして、審議会委員の花岡委員を講師に迎え開催した。野外観察においてよりわかりやすく理解してもらうために二日日程とし、一日目を基礎的な知識に関する講話、二日目を実際に現地に出て野外観察を行う内容とした。参加者からも「楽しかった」「勉強になった」などの好意的な意見が寄せられた。</p> <p>(4) 真狩村文団協主催で総合文化祭及び芸能発表大会を実施している。文化系・芸能系2つの文化事業を行なうことにより、各サークルや団体の日頃の活動の成果や取組を紹介する場となっている。しかし、近年は各サークル・団体の高齢化や後継者不足により活動団体が年々減少傾向になってきている。特に芸能発表大会は、文団協所属サークルの出演と学校関係など他団体の出演が半々となっており、今後の大会運営に懸念がある。</p>
---

#### 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
	(備考)			
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
				<input type="checkbox"/> 事業を縮小
	(備考)			

# 事務事業点検・評価調書

No.12

## 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ
事業目的	①各種講習会や大会の開催によりスポーツの基礎的技術や体力の向上を図る。 ②関係機関と連携し、体を動かすことの楽しさを感じ、親睦を深めることができる機会の提供に努める。 ③スポーツ団体や少年団活動の支援及び指導者の発掘と育成に努める。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費 6.保健体育費 2.体育振興費 8.報償費、11.需用費ほか
------	--

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) 学校施設開放事業 (2) 各種スポーツ教室(卓球、スキー) (3) 羊蹄山南コブ山登山会 (4) 村民大運動会 (5) 小学生卓球大会	(6) プールの利用 (7) 真狩村スポーツ表彰 (8) 体力テスト (9) 細川たかし杯パークゴルフ大会
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算
(1) 通年	村民(各運動サークル)	9千円
(2) 10/8(卓球教室)	12人(真小10人、御小2人)	2千円
1/12～13(スキー教室)	1日目39名・2日目39名(保護者含む)	96千円
(3) 6/16	雨天中止	4千円
(4) 6/30	5チーム、参加者約400人	419千円
(5) 10/19	団体3チーム、個人14人	11千円
(6) 京極町営プールを利用	夏休み期間(児童延べ66人)	132千円
(7) 2/27(式典中止)	7団体6個人に表彰	54千円
(8) 6/18(真小)、11/26(一般)	真小児童(6/18)、32名(11/26)	8千円
(9) 8/17	80人	124千円
		合計 859千円

\*千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>(1) 利用者としては主に中学生がバドミントンの練習で使用していることが多い。引き続き運動習慣の啓蒙を図る</p> <p>(2) 水泳教室は村営プールの老朽化によりオープンできないため中止とした。卓球教室の参加人数は例年よりも少なかった。スキー教室は例年同様の参加人数で、スキー連盟の方に協力いただいている。</p> <p>(3) 山開きの日に行なっており、例年村内外から多くの参加が得られている。今年度については雨天で中止と</p> <p>(4) 昨年度は雨天で中止となったため、2年ぶりの開催となった。1チーム欠場したが、第50回目の節目の大会として十分な盛り上がりを見せていたが、最後のリレーで人が出た。次年度以降はアンケートの結果を踏まえ、室内でも行える誰でも参加できるような大会として検討している。</p> <p>(5) 教職員の働き方改革等により、平日の時間外に係る教職員の事業への協力が難しいという意見が学校側からあったことから土曜日に開催した。参加児童は例年に比べて大幅に減少した。(H30は41人)</p> <p>(6) 村営プールの老朽化によりオープンできないことから、京極町営プールを利用させてもらった。夏休み期間は定期的にバスで送迎した。施設が新しいため好評である。次年度についても京極町営プールを利用させてもらう予定である。</p> <p>(7) 例年、児童生徒への表彰が多いが、令和元年度では長年ゲートボールの振興に寄与してきた一般の方にスポーツ振興賞を授与した。表彰式は新型コロナウイルス拡大防止対策により中止とした。</p> <p>(8) 1回目は真狩小学校と教委が合同で開催している。2回目は野球少年団の参加もあったため、人数的には昨年よりも多いが一般人は年々少なくなっている。もっと多くの方に参加してもらえよう周知していく。</p> <p>(9) 村民よりも圧倒的に村外の方の参加が多いため、社会教育事業というよりはどちらかというと観光的要素に近い。運営費は参加費と村補助金で賄っている。今後は大会の運営方法(実施主体も含めて)について見直しをする必要が出てくるかもしれないと考える。</p>
---

#### 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	<input type="checkbox"/> 事業を縮小			
	<input type="checkbox"/> 休止を検討			
	<input type="checkbox"/> 廃止を検討			
	(備考) 細川たかし杯PG大会の参加者は村民より村外者が多く社会教育事業になじまないのではないか。			
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	<input type="checkbox"/> 事業を縮小			
	<input type="checkbox"/> 休止を検討			
	<input type="checkbox"/> 廃止を検討			
	(備考) (委員意見) ・スポーツ少年団指導者の育成が急務なのではないか。			

# 事務事業点検・評価調書

No.13

## 1. 事業名等

事業名	子どもたちの読書活動推進事業
事業目的	子どもたちが読書に親しむきっかけや地域全体で読書活動の定着を図る。

所管	教育委員会 社会教育係
----	----------------

予算科目	10.教育費
項目	5.社会教育費
目節	4.公民館事業費ほか
	11.需要費、12.役務費ほか

## 2. 事業概要及び実施状況

事業概要	(1) 公民館図書室の運営 (2) 読書関連イベントの開催(読書推進月間・ミニイベント) (3) おはなし会の開催(おはなしポテト) (4) 学校等への配本事業 (5) 子どもたちの読書活動推進委員会の活動 (6) 真珠まりこ講演会		
事業実施期日	事業参加者数	事業費決算	
(1) 平成31年4月～令和2年3月		175千円	
(2) 令和元年11月8日～12月6日	60人(映画上映会)、約110人(読書まつり)		
(3) 平成31年4月～令和2年3月			
(4) 平成31年4月～令和2年3月			
(5) 平成31年4月～令和2年3月			
(6) 令和元年11月2日	217人(うち小学生以下97人)		

\* 千円、未満四捨五入

## 3. 事業の成果と課題と今後の方向性

<p>読書推進委員をはじめ、多くのボランティアの協力を得て、読書の普及促進が図れた。特に推進委員、ボランティアの独自の活動も行われており、住民主体の読書推進に向けた体制が構築されている。</p> <p>教育委員会としては、これら体制充実のため、活動がより活発に継続されるよう支援を行う。</p>
---

## 4. 事業の評価

	必要性	事業の効果	費用対効果	今後の方向性
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	(備考)			<input type="checkbox"/> 事業を縮小
外部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 概ね必要	<input type="checkbox"/> 改善のうえ継続
	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 課題あり	<input type="checkbox"/> 事業を拡大
	(備考)			<input type="checkbox"/> 事業を縮小